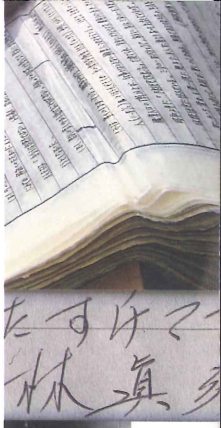
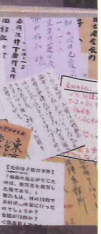
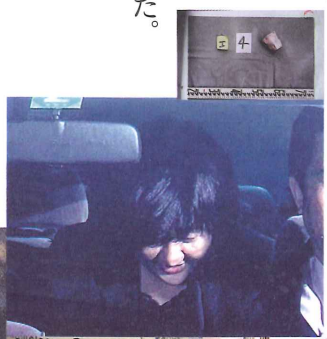


あなたの正義の根拠は何ですか？

マスコミや検察の情報を鵜呑みにし、自分たちは絶対的な正義なのだと思い込み、被疑者へのバッシングを繰り返す私たちに、本作は投げかける。なぜ、いつも自分たちが正しいと思えるのか？





辺見 庸……作家

安田好弘とは尽きるところ何者なのか。
かれはなぜ、わが身を顧みずに困難な弁護活動に命を削るのか。
なにゆえこうまで権力の不正を憎むのか。
どうして割に合わない仕事を引き受け、
全霊で全うしようとするのか……。
これらへの答えは、骨の髄まで腐った国家と社会の暗部にむけた、
かれの怯まぬ眼差しと憤怒から
演繹されなければならない。
われわれは弁護人・安田好弘を必要としている。
このドキュメンタリーはそのことを諄々と証そうと試みている。

大谷昭宏……ジャーナリスト

私は死刑存置派である。
だが、強固なまでにそれを主張できるのは、
死刑弁護人・安田好弘がいるからである。
この映画は、あらためてそのことに気づかせてくれた。

森 達也……映画監督・作家

観終えて思うのは、全身弁護人というフレーズだ。
視点が違えば景色が変わる。それは当たり前。
でもこの映画は、あなたの世界そのものを根底から揺さぶるはずだ。

郷田マモラ……漫画家

世の中、盲目的に多数派に流れる方が楽に生きてゆける。
そうではない、安田弁護士の「人」そのものをみつめる眼差しは、
やさしさに満ちている。
今、ひとりひとりが自分の「目」はどうなのだろうか？……と、
問わなければいけない。

死刑事件を請け負う弁護士は少ない。〝極悪人の代理人〟〝人殺しを弁護する人でなし〟世間から様々なバッシングを受けるだけでなく、人命が奪われた事件を通し、加害者と被害者双方の悔恨や悲嘆に苦悶することになるからだ。

❖

安田は、顧問弁護士を務める会社の事件に関連して、強制執行妨害の罪で自らも逮捕される。しかし、それでもなお彼は、自らの職責として弁護士を全うし続けたいという。
「事実を出して初めて本当の反省と贖罪が生まれる。どうしたら同じことを繰り返さずに済むのか、それには、まず真実を究明しなければならない」
安田は、〝悪魔の弁護人〟と呼ばれようとも、依頼人を背負い続ける。

❖

貧困と富裕、安定と不安定、山手と下町。凄惨な犯罪は境界で起きることが多い。安田は、こう考えている。生まれ育った環境が生む歪みを無視し、加害者を断罪することに終始することが、事件の「解決」と言えるのか。「誰が何を裁くのか？」裁判は、犯罪を抑止するために、材料を洗い出す場でもあるはずだ。安田の生き様から映し出されるのは、この国の司法のありようだ。『平成ジレンマ』『青空どろぼう』の東海テレビが放つ劇場公開ドキュメンタリー最新作。

死刑弁護人

http://shikeibengonin.jp

2012年｜97分｜HD｜16:9｜日本｜ドキュメンタリー

ナレーション 山本 太郎
プロデューサー 阿武野 勝彦
音楽 村井 秀清
音楽プロデューサー 岡田 こずえ
撮影 岩井 彰彦
音声 伊藤 大介
スクリプター 河合 舞
題字 山本 史鳳
CG 東海タイトル・ワン
音響効果 久保田 吉根
編集 山本 哲二
アソシエイトプロデューサー 安田 俊之
協力 フジテレビ 関西テレビ テレビ西日本 テレビ新広島
監督 齊藤 潤一
製作・著作・配給 東海テレビ放送
配給協力 東風

6月30日㊏よりロードショー

特別鑑賞券¥1,400発売中（当日一般¥1,700円/大・専1,400円/中・高・シニア1,000円）

時間 12:30／14:40／16:50／19:00

ポレポレ東中野

〒164-0003 東京都中野区東中野4-4-1
ポレポレ坐ビル地下
03-3371-0088｜www.mmjp.or.jp/pole2

舞台挨拶 6/30㊏初日一回目上映後、二回目上映前、齊藤潤一監督・阿武野勝彦プロデューサー

公開記念特集 6/30㊏～7/6㊎ 21:10～『光と影』+『毒とひまわり』2本立て特別上映
7/7㊏～13㊎[7/9㊊休映] 21:10～『平成ジレンマ』モントリオール世界映画祭凱旋上映

公開記念鼎談｜7/9㊊19時の回上映後　安田好弘さん×勝間和代さん（経済評論家）×森達也さん（映画監督・作家）